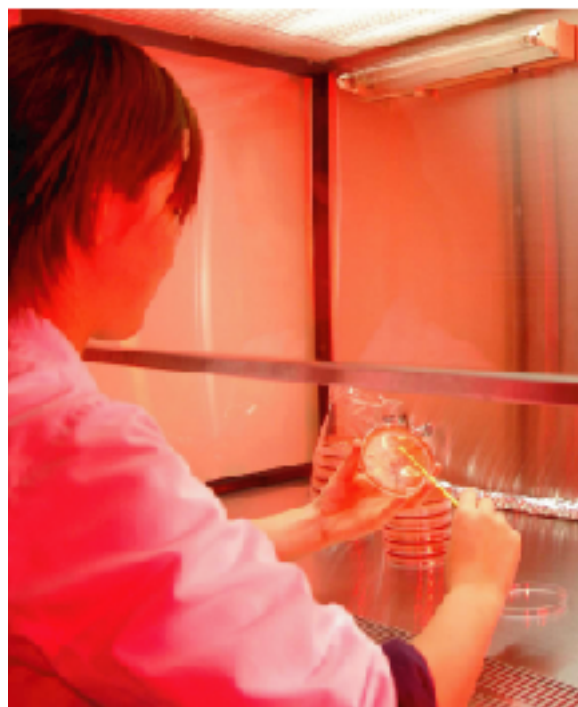


畜試 ニュース

Technology News and
Information of Hokkaido
Animal Research Center



クリーンベンチでの細菌検査

ご挨拶

本年度は自然災害の怖さを再認識させられた年でした。北海道でも台風18は農業に大きな被害をもたらしました。被害を受けた生産者・関係者の方々にあらためてお見舞申し上げます。

試験場は今、これからの農業を支えていくために必要な新しい体制やしくみを検討しています。国全体での行財政改革の中であり、試験場にも当然、組織や予算規模などのスリム化が求められています。しかし、今後の北海道の農業・畜産の発展に不可欠な試験研究の取り組みは確保しなければなりません。このため、普及センターと一層の連携を強めると同時に、生産者・生産組織や関係団体からの生の声、さらに流通加工や消費サイドのニーズにも真摯に耳を傾け、解決が必要な課題の優先順位を的確に把握し、試験をスタートさせることが必要です。また、今実用性は少なくとも、将来の飛躍的な技術革新につながる可能性のある研究も、大事にしなければならぬと考えています。

試験研究やその進め方についてのご意見・要望など遠慮なくお寄せ下さい。

(場長:田村千秋)